

提言書（案）概要

1 はじめに

- 特定の世代の、社会教育活動への参加率の低さ
⇒世代をこえたつながりが形成できていない

2 つながりの必要性

- 社会教育委員が考える「つながり」の必要性

今日のテーマ

- 富士見市の計画に見る「つながり」の必要性と課題

- ・「心豊かに暮らせるまちづくり」を目指す
⇒市民間につながりを形成し、生涯学習活動で学んだことを社会に還元していくことが必要
- ・「心豊かに暮らせるまちづくり」のために掲げる施策
⇒諸活動に参加していない人たちに対して効果的か疑問

3 「世代をこえたつながり」を築くために

- 社会教育の意義と役割

- ・互いに学び合い、支え合う社会を築く必要
⇒社会教育の特徴（中教審答申）

- 緩やかなつながりの必要性

- ・生涯学習活動を行っていない理由の3割が「時間が無い」
⇒世代を問わず広く参加してもらうためには、時代に合わせた、自身の都合に合わせて参加できる工夫が必要
⇒緩やかなつながり
- ・無理のない範囲で、負担感なく、楽しんで参加してもらうことが大切

4 具体的な取組の提案

- ・時代に合わせた、参加へのハードルを下げられるようなシステムづくり
- ・地域と学校、保護者がうまくつながれるようなシステムづくり